

6月22日奈良県議会の傍聴に行ってきました

◎メガ・ソーラーをめぐって

私の住んでいる大和高原において、今問題になっていることの一つにメガ・ソーラー建設問題があります。

ある民間放送局の番組「憤懣本舗」でも取り上げられて、すでにご存じの方もおられるかと思います。

テレビの内容でも焦点は、

「飲料水の源流に施設が出来て水源が汚染される可能性がある」

ということでした。

住民の使う水道水が枯渇してしまっただけは大問題なのです。メガ・ソーラー建設の工事には、

「追加の土砂を搬入する」

と言うことを、最初の住民説明会で業者は述べています。まずい発言だったことに気付いたらしく、その後はこのことについて一言も触れていません。私たちの懸念することは正にここにもあるのです。汚い土砂を運び込まれないかと……。

◎住民の意識は・・・村議会は

当該地域の住民にとっては死活問題であっても、

「自分の地域には関係無いからどうでもええわ。」

と、他人事の意識を持った住民も確かにいるのです。その現れが、村の議会でした。住民の同意なしに建設許可を出せないように条例を作ろうとすると、否決。

村議会は一票差でメガ・ソーラー業者の側に付いてしま

ったのです。万事休す…。

◎奈良県議会の救いの手

平群町のように奈良県内の他の地域でも、メガ・ソーラーとの軋轢は深刻で、奈良県においても、林地開発を慎重に行うための条例が検討されている様子です。

6月22日、奈良県議会である議員から質問があり、県の条例制定について知事や県担当者から進み具合の説明がありました。

「住民の同意なしに工事の着工はできない。」
という条例の一文が欲しかったのです。

大和高原の住民にとっても、ほっと胸をなで下ろす奈良県側の返答でした。今年度中に新条例の出来上がることを期待します。

